



十日町簡易裁判所・新潟家庭裁判所十日町出張所

- 投稿者：北陸地方整備局営繕部
- 撮影年月：平成30年3月
- 所在地：新潟県十日町市稻荷町三丁目南3番地1
- 施工者：建築 (株)丸山工務所
 電気設備 (株)宮下電設
 機械設備 (株)拓越
 エレベーター 日本オチス・エレベーター(株)

Contents

事業紹介

金沢新神田合同庁舎外壁・建具改修等整備

【営繕部 金沢営繕事務所】 2

富山県美術館新築工事

【富山県 土木部 営繕課】 3

保全だより

春の保全情報

【営繕部 保全指導・監督室】 4

情報ホットライン

公共建築に関する情報発信

【営繕部】 5~9

金沢新神田合同庁舎外壁・建具改修等整備 (平成29年度完成施設)

(金沢営繕事務所)

1 改修等経緯

金沢新神田合同庁舎は、築後35年以上が経過し、経年劣化により外部アルミ建具が開閉しづらく、また、クレセントがかけられない建具も出てきており、防犯面の不備や冷暖房の効率も劣るため、建具改修を行いました。また、外壁についてはタイルが部分的に剥がれ破片の落下が確認されたこともあり、建物周辺を通行する人や車両への被害が懸念されたため、併せて外壁改修を行いました。

(※) クレセントとは、引き違い窓などの、三日月型の締め金具で、鍵の役割をする。クレセント錠。

2 改修内容

建具改修は、「かぶせ工法」による改修、外壁改修は、主にタイルの部分貼り替えやアンカーピンニング部分に「エポキシ樹脂注入工法」による改修を行いました。

3 改修工事で考慮した内容

今回の改修工事は、執務を継続しながらの工事で、さらに、一般利用者が多い施設のため、騒音・振動等の影響を考慮して、作業の一部を休日に行う等、作業時間に配慮した対応を行いました。



改修施工中

改修施工後

■施設概要■

- 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階・地下1階建 延べ面積14,482㎡
- 施工者 (株) 山森工業

富山県美術館新築工事

(富山県 土木部 営繕課)

1 事業の概要

移転前の富山県立近代美術館は、中心市街地から遠く、訪れにくいなど、立地的に問題がありました。建物は耐震性が不足し、また、消火設備がスプリンクラーのため火災があった場合に、美術品に大きなダメージを与える可能性が高いなどの問題もありました。このため「県立文化施設・整備充実検討委員会」からの提言を受け、富山駅の北にある県立の富岩運河環水公園西地区に、移転新築することとなりました。

2 整備方針

建物を整備するにあたり、以下の理念に基づいて整備を行いました。

- (1) 近代美術館の理念を継承・発展させ、新しい時代の美術に対応するデザインの視点を積極的に取り入れ、美術とデザインとの関係を見直し、両者をつなぐ場とすること。
- (2) 建物自体に芸術性を持たせて、美術館とその周辺をランドマーク的なものとし、公園内にある美術館として、公園機能の継続及び公園と一体の賑わいを演出すること。
- (3) 地震・火災・洪水に強い建物とすること。



富山県美術館外観

3 工事で考慮した内容

建物の2階は「アート」の空間、3階は「デザイン」の空間、屋上は遊びながらアートやデザインを体感できる「子ども」の空間となっています。内部は、立山連峰の見える全面ガラス張りの大きな吹抜空間をつくり、外部は、環水公園につながる緑地を整備するとともに、屋上は擬態語をイメージする遊具を配した「オノマトペの屋上」となっています。

内外装仕上げでは、富山県の地場産品を様々な形で使用し、展示する役割も担っています。

外壁には、本県の基幹産業である「アルミ」の特注パネルを使用し、内装には、県産材である「氷見里山杉」を多用しています。

設備の工夫点としては、空調負荷の低減を図るため、地下水を汲み上げて熱取得後に地下水に返す「地中熱利用空調」を採用し、さらに蓄熱槽を組み合わせた空調方式としています。

(※) オノマトペとは、擬音語と擬態語の総称である擬声語を意味するフランス語



外壁(アルミ特注パネル使用)



内装(氷見里山杉使用)

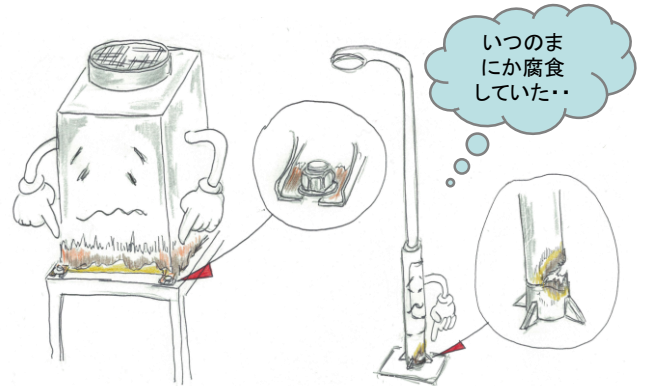
■施設概要■

- 名称 富山県美術館
- 所在地 富山市木場町3-20
- 構造・規模 鉄骨造一部
鉄骨鉄筋コンクリート造
地上4階建
延べ面積 14,990㎡
- 工期 2016年4月～2017月12月
- 設計・監理 (株)内藤廣建築設計事務所
- 施工者 清水建設・三由建設・前田建設
共同企業体 外

4月の人事で、初めて保全責任者又は保全担当者
に配置転換された方へ

1 保全とは

「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。



▲屋外機などの腐食

▲街灯などの腐食

草などが根をのぼすことによって、防水層を貫通し、水が浸入するおそれがあります。排水溝の周りの泥等を取り除くと共に、ルーフトレンの取付状態・腐食・破損及び防水の劣化の有無等を確認する必要があります。ルーフトレンは、排水不良のない状態に保全しなければなりません。

2 春の保全

これからの季節は、梅雨、台風などの雨による次のような、施設への被害が想定されます。

エアコンの室外機・太陽光パネル・外灯・掲示板・国旗掲揚ポールなど、取付部分等に錆が見られる場合、強風により転倒や飛散のおそれがあります。

機器や工作物は錆の状態を確認し、早めにさび止め等による予防、腐食がかなり進んで転倒・落下などが予想される場合は、機器の撤去など適切な処置をお願いします。

屋上排水溝（ルーフトレン）に堆積した泥やゴミなどによって、雨水排水機能が阻害され水溜まりが出来てしまった場合、屋上に雨水が滞留し、



雪解け後の保全として、落雪・除雪・雪解けなどにより、施設に多く見受けられた事例が記載されているバックナンバーを紹介します。

2016春号NO.34 P.9 雪解け後の外回りの点検
http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/001_order/HP%20up%20dat/a/01%20eizentsushin/eizentushin/34%202016%2001win.pdf

公共建築に関する情報発信

(営繕部)

■平成30年度

「北陸地区保全実務担当者講習会」

(BIMMS-N操作説明会)の開催について

「北陸地区保全実務担当者講習会」は、施設管理担当者として庁舎等の保全の実務にあたり必要な知識等を得ることを目的に、開催しています。平成30年度は、新潟市、富山市及び金沢市において、6月に下記の内容で、開催を予定しています。

- ①保全について(概要)
- ②北陸地整管内の保全の現況
- ③国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)
- ④官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の概要
- ⑤官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の演習

「北陸地区保全実務担当者講習会」では、営繕部保全指導・監督室や金沢営繕事務所の担当者による北陸地整管内の保全状況の報告や、BIMMS-Nの操作説明の後、実際にPCを用いて操作の習得を目的に、演習を行う予定です。

■平成30年度

「北陸地区営繕主管課長会議」

の開催について

6月19・20日に北陸地方整備局を会場として、平成30年度「北陸地区営繕主管課長会議(前期)」の開催を予定しています。

北陸地方整備局からの情報提供と、新潟県、富山県、石川県及び新潟市からの、提出議題に対する意見交換等が予定されています。

■平成30年度

「北陸地区官庁施設保全連絡会議」

の開催について

「北陸地区官庁施設保全連絡会議」は、国家機関の建築物の保全業務を担当している施設管理担当者に対して、保全業務の現況と課題等の情報提供及び、意見交換を行うことを目的として、開催しています。平成30年度は、新潟市、富山市及び金沢市において、7月に下記の内容で、開催を予定しています。

- ①北陸地整管内の保全の現況
- ②国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)
- ③建築基準法の改正に伴う定期報告・定期点検制度等について
- ④平成29年度建築保全業務労務単価、平成29年度各所修繕費要求単価、庁舎維持管理費要求単価等について
- ⑤その他情報提供

会議会場の庁舎を使用して、営繕部保全指導・監督室や、金沢営繕事務所の担当者による官公法の点検や、注意点等を確認するなど、法律に基づく点検について、体験講習を行う予定です。

■公共建築物における木材利用の促進 ③

(シリーズ)

健康的で温もりのある快適な生活空間の形成や、二酸化炭素の排出抑制及び建築物等における炭素の蓄積の増大を通じた地球温暖化の防止、再生可能な資源でもあるため、循環型社会の形成にも貢献することが期待される木材。その利用促進として、国では公共建築物において低層建築物の木造化や内装等の木質化に取り組むことを前回までに紹介させていただきましたが、今回は、建築物の木材利用の更なる取組みについて、紹介させていただきます。

1 中高層の建築物等に活用できるCLT

CLT (Cross Laminated Timber) とは、ひき板を並べた層を板の方向が、直交するように何層にも重ねて接着した大判の木質パネルで、厚み36～300mm程度、大きいもので幅3m、長さ12mをカットして利用するものです。欧米諸国では10階建て程度の木造建築物の構造材として利用される等、規格化が進んでいます。日本では、2013年12月に製造規格となるJAS (日本農林規格) が制定され「直交集成板」として規格化されています。

繊維配向	平行	直交
原料		
ひき板	集成材 	CLT 
単板	LVL 	合板 

CLTは、近年日本国内でも共同住宅や事務所等様々な用途で、利用されています。2016年4月にCLT関連の建築基準法告示が公布・施行され、3階建て以下の建築物で準耐火建築物としなければならない場合にも、CLTあらわし等を用いた部材を壁、床又は屋根に適用できるようになりました。

【参考】Co Co CLT(つくばCLT実験棟)



延べ床面積
166.0㎡
CLT利用サイズ
壁 厚90/150mm
床 厚210mm
屋根 厚150mm
所在地
茨城県つくば市
(国立開発研究法人
建築研究所 敷地内)

(一社)日本CLT協会 HPより
写真撮影：(株)ナカサアンドパートナーズ

2 おわりに

公共建築物の木造化、内装等の木質化をはじめ、備品や消耗品、暖房器具等への木質バイオマス燃料導入等、更には、中高層の建築物等にも活用できるCLT工法での建築や部分的利用等、木材需要の創出や地方創生への寄与の観点から、木材利用の促進のための施策に、国及び地方公共団体等で、今後とも取り組んでいきます。

次回からは、自治体並びに国で取り組んでいる木造化・木質化の実施例を紹介させていただきます。

■ 施工管理技術検定の年2回化の

実施計画が確定

平成30年度より実施する2級学科試験の年2回化について、試験日程を含めた実施計画が確定しましたので、お知らせします。

下記ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000537.html

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

なお、国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_00006_3.html

- 北陸地方整備局営繕部計画課
TEL: 025-280-8880 (内線5153)
FAX: 025-370-6504
- 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課
TEL: 076-263-4585
FAX: 076-231-6369

e-mail: pb-soudan@pop.hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名、会社名、担当者、連絡先等をご記入ください。

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や、地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

出前講座出張例：

- 6月13日 石川県管工事業協同連合会 総会
- 6月19日 新潟電設業協会 北陸営繕研修会

■ 施工管理技術検定試験合格証明書の

申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
管工事施工管理技士		

* 英文証明書の発行も行っております。

■ 発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けするため、「官庁営繕部発注情報メール配信サービス」を試行しています。公告日に、登録されたメールアドレスに配信されます。無料でご利用いただけますので、是非ご登録ください。

1 対象となる発注機関と工事・業務種別

(1) 発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部、
北陸地方整備局営繕部及び
金沢営繕事務所、
北海道開発局営繕部、
各地方整備局営繕部及び営繕事務所、
沖縄総合事務局開発建設部営繕課

(2) 工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

(3) 業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録手続を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。

登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3 メール配信される発注情報

- (1) 工事名称または、業務名称
- (2) 工事種別、工事の等級区分、施工場所、業務の場合は、業務種別
- (3) 技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は、入札情報サービスにてご確認ください。

<http://www.i-ppi.jp>

■ 工事・業務発注見通し及び入札公告に関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所における工事や業務の発注見通し等は、下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

■ 保全マネジメントシステム（BIMMS）

導入・活用事例集について

国土交通省では、市町村による公共建築物の個別施設計画策定（平成32年度までに策定）を支援するため、個別施設計画を容易に作成できるBIMMSについて、地方公共団体が導入時に検討した内容や、活用状況をまとめた事例集を官庁営繕部ホームページに、掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000025.html

■北陸3県津波浸水想定が公表されています。

津波防災診断を行い適切な対策を施して下さい。

参考：津波防災診断

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tsunami_shishin.html

平成29年11月15日に新潟県では、「津波浸水想定図(平成29年度版)」が公表がされています。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/bosaikikaku/h29tunami.html>

平成29年1月11日に富山県では、「津波浸水想定の設定」が見直され公表されています。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1004/kj00017580.html

平成29年5月に石川県では、「津波浸水想定区域図」を見直し公表されています。

http://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/kikikanri_g/tsunami_info.html

■QRコードが利用できます

北陸地方整備局営繕部

ホームページの「QRコード」

を作成しました。ご利用ください。



えいぜん通信@北陸 平成30年4月発行

編集：



北陸地方整備局営繕部

ホームページアドレス

TEL025-280-8880(代表)FAX 025-370-6504

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



北陸地方整備局金沢営繕事務所

ホームページアドレス

TEL076-263-4585(代表)FAX 076-231-6369

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>



『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。

北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。